

# 令和4年度 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

## 事業報告

### 1. 事業総括

令和4年度は、ACMA ビジョン『秋田県民と介護支援専門員の未来創造』～R3年度変革の年から行動のR4年度への有言実行力～のもと、以下の3つの事業方針を掲げ、組織づくりに必要な「人・物・金・時間」の視点からも組織体制を整備し、当協会の安定化、永続化を実現できるよう、職能団体としての活動基盤をブラッシュアップしました。

1. 職能団体としての基盤づくり 2. 介護支援専門員人財の育成 3. 秋田県への地域貢献

特に、介護支援専門員の法定研修（専門研修Ⅰ・Ⅱ、更新研修、再研修、主任CM研修、主任CM更新研修）を秋田県から受託し運営できたことは当協会にとって大きなターニングポイントになりました。介護支援専門員の職能団体として人材教育・育成を担うことは必然であり、法定研修はその根幹です。法定研修実施主体としてその役割を担うことは、身が引き締まる思いでしたが、秋田県民と介護支援専門員の未来創造のために、しっかりと実績を残せたことは、介護支援専門員の職能団体としての永続化という視点からも大きな意味がありました。

また、「ケアラー支援・普及啓発事業」においても、SNS相談事業（ケアラーサポートLINE秋田）、オンラインつどいの場運営事業も受託し、ケアラー支援という社会課題に対しての新たな取り組みへの挑戦も始まりました。そして、事務局体制についても、新たに職員2名を採用し事務局3名体制とすることでの運営体制の強化、秋田県からの事業を積極的に受託することでの財政基盤の安定化も図ることができました。

一方で、当協会が急成長していく中で、運営面では各事業を運営することに忙殺され、細かな部分での配慮不足や質の向上という観点では課題も多く残ったことは否めません。良かった点は素直に喜び、できなかった点は素直に受け止め、次期運営では、役割の明確化・業務効率化・生産性向上の視点も取り入れながら、ひとつひとつ課題解決に努めて参ります。

協会運営体制としては、細かな部分では多々課題はありますが、全体としては、「変革の時」と位置付けたR3年度から、「有言実行力」のR4年度の2年間で大きな成長を遂げることができ、秋田県の介護支援専門員の価値や当協会の存在意義を高めることはできたのではないかと感じます。

すべては秋田県長寿社会課様からの手厚いご支援をはじめ、理事及び会員の皆様の献身的な活動へのご協力をいただいたおかげです。ご支援ご協力をいただきました全ての方々に感謝を申し上げます。

組織は一日にして成らず、これからもスモールステップで成長しながら、秋田県民の幸せと介護支援専門員の未来創造の為に行動して参ります。

## 2. 特定非営利活動に係る事業

### I 令和4年度秋田県介護支援専門員資質向上事業

#### ★介護支援専門員再研修

(1) 目的

介護支援専門員として実務についていない者又は実務から離れている者が実務に就く際に、介護支援専門員としての必要な知識、技能の再修得を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

介護支援専門員として都道府県の登録を受けた者で、介護支援専門員証の有効期間がすでに切れている者。(再研修開催期間中に有効期間満了日を迎える者を含む。)

(5) 研修期間、回数、期日等

期間	期日	研修方法
10日間	令和4年8月1日(月)～5日(金) 8月16日(火)～8月20日(土)	オンライン研修 集合研修(秋田県社会福祉会館、 秋田県中央地区老人福祉総合エリア)

(6) 研修内容

10日間(計54時間)の研修を実施した。

[主な内容]

介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

ケアマネジメントに係る法令等の理解

自立支援のためのケアマネジメントの基本

介護支援専門員に求められるケアマネジメント

地域包括ケアシステム及び社会資源

人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理

ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義

ケアマネジメントの展開

(脳血管疾患に関する事例、認知症に関する事例、筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例、内臓の機能不全に関する事例、看取りに関する事例)

アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

(7) 講師 表3

(8) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 76 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

★介護支援専門員更新研修

(1) 目的

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 研修名

◆介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者）〉

◎受講対象者

介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している方又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者。

◎研修期間、回数、期日等

(更新研修前期) (合計 8 日間)		
期	日	開催方法
1 組	令和 4 年 5 月 25 日(水)～5 月 28 日(土)、 6 月 7 日(火)～6 月 10 日(金)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)
2 組	令和 4 年 5 月 31 日(火)～6 月 3 日(金)、 6 月 14 日(火)～6 月 15 日(水)、 6 月 20 日(月)～6 月 21 日(火)	
(更新研修後期) (合計 4 日間)		
期	日	開催方法
1 組	令和 4 年 7 月 19 日(火)～7 月 22 日(金)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)
2 組	令和 4 年 8 月 8 日(月)～8 月 11 日(木)	
3 組	令和 4 年 9 月 13 日(火)～9 月 16 日(金)	

◎研修内容

12日間(計88時間)の研修を実施した。

〈前期8日間(計56時間)、後期4日間(計32時間)〉

[主な内容]

**前期**

ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定

介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状

対人個別援助技術及び地域援助技術

ケアマネジメントの実践における倫理

ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践

ケアマネジメントの演習

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり

**後期**

介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開

ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

◎講師 前期 表1 後期 表2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者53名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

(後期1組33名、後期2組12名、後期3組8名 うち11名前期免除者)

◆介護支援専門員更新研修〈実務経験者（2回目以降更新対象者）〉

### ◎受講対象者

介護支援専門員の資格取得後、専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者の更新研修を修了し、初回の介護支援専門員証の更新をした者で、その後、最新の有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者。

### ◎研修期間、回数、期日等

期間 4日間		
期	日	研修方法
1組	令和4年7月19日(火)～7月22日(金)	オンライン研修
2組	令和4年8月8日(月)～8月11日(木)	集合研修
3組	令和4年9月13日(火)～9月16日(金)	(秋田県社会福祉会館)

### ◎研修内容

4日間(計32時間)の研修を実施した。

介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開

ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例

### ◎講師 表2

### ◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者64名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

(1組28名、2組16名、3組20名)

### ◆介護支援専門員更新研修(実務未経験者)

#### ◎受講対象者

介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者。

### ◎研修期間、回数、期日等

期 間	期 日	研修方法
10 日間	令和4年8月1日(月)～5日(金) 8月16日(火)～8月20日(土)	オンライン研修 集合研修（秋田県社会福祉会館、 秋田県中央地区老人福祉総合エリア）

## ◎研 修 内 容

10日間（計54時間）の研修を実施した。

[主な内容]

- 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント
- ケアマネジメントに係る法令等の理解
- 自立支援のためのケアマネジメントの基本
- 介護支援専門員に求められるケアマネジメント
- 地域包括ケアシステム及び社会資源
- 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理
- ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義
- ケアマネジメントの展開
  - （脳血管疾患に関する事例、認知症に関する事例、筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例、内臓の機能不全に関する事例、看取りに関する事例）
- アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

## ◎講 師 表 3

## ◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者81名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

## ★主任介護支援専門員研修

### (1) 目 的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践できる主任介護支援専門員の養成を図ることを目的として実施した。

### (2) 実施主体

秋田県

### (3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

### (4) 受講対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有し、主任介護支援専門員に求められる役割を自覚し、今後その業務に携わる者として適格であるとし、実施要綱に定められた3要件を満たすとして所属長の推薦を受けた者。

(5) 研修期間、期日等

期間	11日間	
期日	研修方法	
令和4年	オンライン研修 集合研修（秋田県社会福祉会館）	
10月11日(火)～10月14日(金)		
10月25日(火)～10月28日(金)		
11月2日(水)～11月4日(金)		

(6) 研修内容

11日間(計70時間)の研修を実施した。

[主な内容]

主任介護支援専門員の役割と視点

人材育成及び業務管理

運営管理におけるリスクマネジメント

ターミナルケア

ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援

地域援助技術

対人援助者監督指導

ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践

ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践

個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開

(7) 講師 表4

(8) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者66名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

★主任介護支援専門員更新研修

(1) 目的

主任介護支援専門員に対して更新研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図

るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

介護支援専門員証の有効期間内であり、実施要綱に定められた要件のいずれかに該当するものであって、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期間がおおむね 2 年以内に満了する者。

(5) 研修期間、期日等

期間	8 日間
期 日	研修方法
令和 4 年 9 月 6 日(火)～ 9 月 9 日(金)	オンライン研修 集合研修（秋田県社会福祉会館）
9 月 28 日(水)～ 10 月 1 日(土)	

(6) 研修内容

8 日間（計 46 時間）の研修を実施した。

〔主な内容〕

介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向

主任介護支援専門員としての実践の振り返り及び支援の実践

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

(7) 講師 表 5

(8) 修了証明書の交付等



全課程を修了した受講者 178 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

## II 令和4年度秋田県介護支援専門員実務研修等事業

### ★介護支援専門員専門研修

#### (1) 目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験を踏まえた専門知識、技能の修得を図るとともに、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得することにより、介護支援専門員の資質向上を図ることを目的として実施した。

#### (2) 主催

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

#### (3) 研修課程毎の内容

##### ◆専門研修課程 I

##### ◎受講対象者

原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後 6 か月以上の者。

##### ◎研修期間、回数、期日等

専門研修課程 I (合計 8 日間)		
期	日	開催方法
1 組	令和 4 年 5 月 25 日(水)～5 月 28 日(土)、 6 月 7 日(火)～6 月 10 日(金)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)
2 組	令和 4 年 5 月 31 日(火)～6 月 3 日(金)、 6 月 14 日(火)～6 月 15 日(水)、 6 月 20 日(月)～6 月 21 日(火)	

##### ◎研修内容

8 日間(計 56 時間)の研修を実施した。

〈前期 8 日間(計 56 時間)、後期 4 日間(計 32 時間)〉

##### [主な内容]

ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定

介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状

対人個別援助技術及び地域援助技術

ケアマネジメントの実践における倫理

ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践

ケアマネジメントの演習

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例

- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり

◎講師 表1

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 45 名に対し、修了証明書を交付した。(1 組 20 名、2 組 25 名)

◆専門研修課程Ⅱ

◎受講対象者

原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、専門研修課程Ⅰを修了している就業後3年以上の者。

◎研修期間、回数、期日等

専門研修課程Ⅱ（合計4日間）		
期	日	開催方法
1組	令和4年 7月19日(火)～7月22日(金)	オンライン研修 集合研修 (秋田県社会福祉会館)
2組	令和4年 8月8日(月)～8月11日(木)	
3組	令和4年 9月13日(火)～9月16日(金)	

◎研修内容

介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開

ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表

- ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・認知症に関する事例
- ・入退院時等における医療との連携に関する事例
- ・家族への支援の視点が必要な事例
- ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

◎講師 表2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 223 名に対し、修了証明書を交付した。  
(1 組 114 名、2 組 48 名、3 組 61 名)

### Ⅲ 令和4年度主任介護支援専門員の指導力向上 OJT 研修事業

#### ★ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修

(1) 目 的

本研修は、①介護給付の適正化を図り、利用者に対する適切な介護サービスを確保し、不適切な給付が削減されることにより、介護保険制度の信頼感を高めるとともに、介護給付費の増大や介護保険料の上昇を抑制することを通じ、持続可能な介護保険制度の構築に資すこと、②ケアプラン点検を適正に行えるアドバイザーとなる主任介護支援専門員の育成及び指導力の向上を図ること、③潜在している真の課題を抽出するために多職種専門職による知識の相乗と各専門職の分野からの着眼点を咀嚼して、多職種の専門職による知識の相乗効果（チームケア）を駆使することを目的として課題整理総括表・評価表を活用した自立支援型ケアマネジメントから自立支援型地域ケア会議についての展開の実際を学ぶことを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

主任介護支援専門員

(5) 研修期日、内容、講師等

期 日	時 間	研 修 内 容	開催方法
令和4年 10月 19日 (水) 第1日目	10:00~12:00 第1部	「ケアプラン点検のポイント」 講師：青森県介護支援専門員協会 会長 木村隆次 氏	オンライ (ZOOM)
	13:00~16:00 第2部	「課題整理総括表・評価表の記入方法と 活用」 講師：青森県介護支援専門員協会 会長 木村隆次 氏	
令和4年 11月10日 (木) 第2日目	第1部 10:00~10:20 10:20~11:20	講師：福寿園りんごの里居宅介護支援セ ンター 管理者 石橋裕子氏 自立支援型ケアマネジメントについて	

	11:20~11:30	自己紹介・事例発表	オンライン (ZOOM)
	11:30~12:00	休憩 自立支援型地域ケア会議の開催に適した ケースの選定	
	第2部		
	13:00~13:30	事例の読み込みと会議の準備	
	13:30~14:10	模擬の自立支援型地域ケア会議開催	
	14:10~14:20	休憩	
	14:20~14:40	感想及び発表準備	
	14:40~15:00	発表による共有	

(6) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 18 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

★地域同行型研修

(1) 目的

本研修は、地域における人材育成の観点から、実務経験の浅い介護支援専門員等に対し、主任介護支援専門員等による実習型研修を実施することにより、介護支援専門員の実務能力の向上及び主任介護支援専門員の指導力の向上を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

県内の居宅介護支援事業所に勤務し、本研修に受講するに相応しい介護支援専門員

(5) 研修期日、内容、講師等

期 日	時 間	研 修 内 容	開催方法
令和4年 9月20日(火)  全体研修	第1部 10:30~12:00	主任介護支援専門員研修(講義) *アドバイザーの方のみ受講 *アセスメントに同行する専門職 (理学療法士・薬剤師等)	オンライン (ZOOM)
	第2部 13:00~14:30	地域同行型研修について(講義) 配布資料・提出書類について ワークシート等、記入方法について	

	14：30～16：00	アセスメント確認(提出ケースについて) 読み込みや目標設定 同行研修日程打合せ	
令和4年 9月21日(水)～ 令和4年 11月16日(水)  同行型研修	パワーポイント 作成は11月18 日(金)まで	個別面談 ・ペアとなったアドバイザーと介護 支援専門員で最終調整 個別実習 ・サービス担当者会議及びモニタリ ングにペアになったアドバイザー (協会より派遣)が同行*状況に応 じてオンラインや動画活用も可能	同行訪問
令和4年  11月22日(火)  全体研修	13：00～13：10 13：10～15：10  15：20～15：50 15：50～16：00	オリエンテーション プレゼンテーション 受講者が所属する居宅介護支援事 業者の管理者も聴講してもらう  振り返り・アドバイザー講評 閉会の挨拶 *終了証は後日送付	オンライン (ZOOM)

講師：青森県介護支援専門員協会 会長 木村隆次 氏

(6) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者5名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

#### IV 令和4年度介護支援専門員等に対する実践力向上研修事業

##### ★事業所管理者向け研修

(1) 目的

管理者として必要な専門的知識・技術をさらに磨き、そして本研修を事業所に持ち帰り、実践することにより、事業所職員のスキルアップと事業所としての安定経営を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

事業所管理者

労務管理や人材育成等のスキル取得を目指す介護支援専門員

起業を考える者、管理者業務に興味のある者

(5) 研修期日、内容、講師等

日時：令和4年11月14日(月)午前10時から午後4時

時間	第1部：10：00～12：00	第2部：13：00～16：00
テーマ (主題)	チームビルディングと コンフリクトマネジメント	ケアマネジメントへの精通と 運営基準減算回避
次第	管理者の責務 ～事業所管理と人材育成～ チームビルディングの基礎知識 自分のチームを客観視しよう コンフリクトマネジメントへの着手 ～運営指導を活用する場合～	安定した事業所経営と質の向上 ～運営基準への精通と運営指導対策～ ケアマネジメントの適正な手順 ～暫定ケアプランと軽微な変更～ 質疑応答・意見・情報交換

講師：一般社団法人あたご研究所 代表理事 後藤 佳苗 氏

(6) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 134 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

★初任者フォローアップ研修

(1) 目的

初任段階の介護支援専門員はOJTの機会が無いまま現任となるため、本研修を実施し、ギャップや悩みを解消しモチベーションの維持を図り、また、介護支援専門員同士のつながりを作ることを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

初任段階の介護支援専門員（実務経験5年未満の者）

(5) 研修期日、内容、講師等

日時：令和5年1月14日(土) 午前10時から午後4時

内容：初任者を対象とした、介護支援専門員の専門性と役割についての講義と演習  
講師：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊 純一 氏

(6) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 57 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

★復職者向け研修

(1) 目的

介護支援専門員の資格を取得した後に、育児や介護等で実務を離れた方などは復職に対し不安を抱えており、そうした問題を解決する場が必要となる。

スムーズな復職を支援することを目的とするとともに、介護支援専門員として実務についていない方又は実務から離れている方等が実務に就く際に、介護支援専門員として必要な知識及び技能を再修得する事を目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県

(3) 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

復職を希望する介護支援専門員

- ・介護支援専門員として業務に復帰した、あるいは復帰する予定の者。
- ・介護支援専門員としての実務に従事した事がない者。
- ・介護支援専門員として必要な知識及び技能の再修得を希望する者。

(5) 研修期日、内容、講師等

日時：令和 5 年 2 月 18 日(土) 午前 10 時から午後 4 時

内容：復職者を対象とした、介護支援専門員の専門性と役割についての講義と演習

講師：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊 純一 氏

(6) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 16 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

★介護予防従事者研修

(1) 目的

介護予防支援の業務に従事する介護支援専門員等が、介護予防支援計画書を作成できるよう必要な知識の習得及び技能の向上を図り、適切な介護予防支援の提供を確保すること

を目的として開催した。

(2) 主 催

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(3) 参加対象

介護予防支援事業所において介護予防支援業務に従事する者および指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員

(4) 研修期日 令和4年12月14日（水）9：30～13：00

(5) 内容・講師等

時 間	内 容	講師等
9：30	開会	
9：35	主催者挨拶	
9：40～11：10	講義「地域包括ケアシステムで求められる介護支援専門員とは」	秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 阿部 公一 氏
11：10～11：20	休憩	
11：20～12：50	講義「介護予防・支援サービス計画書の記載について」	牛島地域包括支援センター 管理者 佐々木基成 氏
12：50～13：00	質疑応答・事務連絡	
13：00	閉会	

(6) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 98 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

★ICT を活用した生産性向上スキル習得講座

(1) 目 的

介護支援専門員は、新しい生活様式へシフトする中で、ケアマネジメントに関する会議や研修などをオンライン等で開催するスキルが求められており、ICT を活用した効率的な業務を行うことができるスキルを習得することを目的として開催した。

(2) 主 催 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(3) 参加対象

ICT を活用した業務の効率化等を行うためのスキル習得を目指す介護支援専門員



(4)研修期日 令和5年2月22日(水) 14:00~17:00

(5)内容・講師等

時 間	内 容	講師等
14:00	開会 主催者挨拶	NPO 法人 タダカヨ
14:10~17:00	講義 「明日から使える ICT・業務効率化ツール5選」 理論編 セキュリティを「正しく恐れる！」 実践編 ワークショップ「やってみよう！」	
	質疑応答・事務連絡	
17:00	閉会	

(6)修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者60名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

## V 令和4年度秋田県ケアラー支援・普及啓発事業

### ★ケアラー支援・普及啓発事業普及啓発セミナー

(1)目的

県民一人ひとりがケアラーに対する理解を深め、社会全体でケアラーを支える地域づくりのため、県内外に発信する普及啓発セミナーを開催した。

(2)主催

秋田県

(3)実施機関

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4)受講対象者

- ①秋田県民・県外在住者、本テーマに興味を持つ者
- 本テーマに興味・関心を持つ相談支援従事者・関係団体・行政職員等

(5)研修期日、内容、講師等

- ①日時：令和4年12月13日(火) 13時30分~15時40分

②テーマ：ケアラーを支える仕事と介護の両立支援

③内容・講師

第1部 基調講演（70分） 13：35～14：45

『秋田式 ケアラーを支えあえる地域を目指して  
～ケアラーを支える仕事と介護の両立支援～』

講師：一般社団法人日本ケアラー連盟

理事 山口 麻衣 氏（ルーテル学院大学教授）

第2部 シンポジウム（35分） 14：55～15：30

『ケアラー体験・支援者の語らい～体験談からこれからの考える～』

シンポジスト

川尻 昌彦 氏（能代市家族介護者の集い・ドリームの会 会長）

塚本 信太郎 氏（すこやか横手居宅介護支援センター 管理者）

司会者

秋田県介護支援専門員協会会長 小原 秀和

コメンテーター

山口 麻衣 氏

(6) 修了証明書の交付等

参加者 62 名のうち、希望者 33 名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

## ★相談援助従事者研修

(1) 目的

介護問題の早期発見・早期対応に必要な相談援助及びケアラーの相談援助について実践方法を学び、問題解決力の向上を図る為の社会資源の活用や実践事例、両立支援について学びを深め支援体制の拡充を行うことを目的として開催した。

(2) 主催

秋田県

(3) 実施機関

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

(4) 受講対象者

①相談支援従事者・関係団体・行政職員

②興味・関心を持つ秋田県民

(5) 研修期日、内容、講師等

①日時：令和4年11月29日（火） 9時30分～12時30分

②テーマ：ケアラーを支える仕事と介護の両立支援

### ③内容・講師

第1部 基調講演(60分) 9:35~10:35

『仕事と介護の両立支援について ~ケアラー支援の視点から~』

講師: 中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 佐藤 博樹 氏

第2部 演習(100分) 10:45~12:25

『介護に備える ~介護離職予防トレーニング~』

講師: 秋田県介護支援専門員協会 小原 秀和 会長

ワークサポートケアマネジャー(日本介護支援専門員協会認定)

### (6)修了証明書の交付等

参加者64名のうち、希望者40名に対し、秋田県介護支援専門員協会より修了証明書を交付した。

### ★オンラインつどいの場の開設・運営

オンライン上で集いの場を開催することにより、ケアラーの参加・交流ができる居場所づくりを行うとともに、ケアラーに対する支援の入り口や日常の悩みを吐露でき、安心できる居場所とすることで、孤立予防や課題の早期解決を支援することを目的とし、ケアラーオンラインつどいの場を開催した。

第1回	8月30日(火)	参加者5名
第2回	9月22日(木)	参加者3名
第3回	10月27日(木)	参加者1名
第4回	11月24日(木)	参加者0名
第5回	12月22日(木)	参加者1名
第6回	1月26日(木)	参加者1名
第7回	2月22日(水)	参加者2名
第8回	3月23日(木)	参加者1名

### ★普及啓発資料の制作・印刷

普及啓発用ポスター1,000枚及び、ケアラーサポートLINE秋田PR用カード110,000枚の制作・印刷を行った。

### ★SNSによる相談対応

「ケアラーサポートLINE秋田」により、LINE相談に対応した。

対応日 月~金(平日)の10:00~18:00

1回の相談対応時間 60分まで

総相談受付件数 33件

※うちケアラー相談として対応した件数 15件

	相談件数	ケアラー 相談	相談対応	備 考
7	7	0	0	
8	10	8	7	対象外の2件は相談先を伝える。ケアラー相談のうち1件は、時間に余裕があるときに相談する旨の返信有。
9	2	1	1	対象外の1件は相談先を伝える。
10	2	0	0	相談先を伝える。
11	3	1	1	対象外うち、応答のあった1件は相談先を伝える。
12	2	2	2	
1	4	2	2	対象外の2件は相談先を伝える。
2	2	2	2	1件は、相談開始後応答なし。
3	1	0	0	対象外の1件は相談先を伝える。
計	33	16	15	

## VI 相談・情報提供等事業

- ①相談窓口の設置
- ②広報誌の発行 第21号：令和5年3月31日発行
- ③ホームページの更新

## VII 日本介護支援専門員協会支部事業

### ①社員総会(オンライン開催)

期 日：令和4年6月26日(日)

出席者：小原会長、長澤副会長

### ②支部長会議

#### 【第1回】

期 日：令和4年8月5日(金)

場 所：オンライン

出席者：長澤副会長

#### 【第2回】

期 日：令和5年2月10日(金)

場 所：オンライン

出席者：小原会長

### ③日本介護支援専門員協会調査協力、活動協力

- ・情報収集システム協力者(モニター)に関する協力
- ・介護離職防止支援への介護支援専門員の関与(ワークサポートケアマネジャー)についての特別委員会の委員派遣
- ・令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査協力
- ・介護支援専門員生涯学習体系の運用に関する特別委員会ワーキンググループ委員派遣
- ・社員総会副議長

- ・介護保険制度・報酬委員会の委員派遣
- ・居宅介護支援事業所部会の委員派遣
- ・「LIFE を活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性の検証に関する調査研究」モデル事業へ協力
- ・居宅介護支援事業所におけるタイムスタディ調査への協力
- ・介護予防支援事業所におけるタイムスタディ調査への協力
- ・介護支援専門員の実践知の言語化に関する事業への協力

## Ⅷ 地区協会支援事業

地区協会助成金交付 各地区正会員一人あたり 500 円の助成

## 3. 組織管理

### (1) 会議開催

#### ①通常総会（オンライン開催）

期 日：令和 4 年 5 月 14 日(土)

内 容：議案 1 号 令和 3 年度事業報告および収支決算について  
議案 2 号 令和 4 年度事業計画(案)および収支予算(案)について

#### ②臨時総会（オンライン開催）

期 日：令和 5 年 3 月 17 日(金)

内 容：議案 1 号 令和 5-6 年度役員改選について

#### ③正副会長会議

##### 【第 1 回】

期 日：令和 5 年 6 月 8 日(水)

場 所：秋田県介護支援専門員協会事務局

内 容：R4 事業の進捗状況について

##### 【第 2 回】

期 日：令和 4 年 10 月 7 日(金)

場 所：秋田県介護支援専門員協会事務局

内 容：1. 法定研修実施状況について  
2. 法定外研修及びケアラー支援・普及啓発事業の進捗状況について

##### 【第 3 回】

期 日：令和 4 年 3 月 17 日(金)

場 所：秋田県介護支援専門員協会事務局

内 容：1. R4 臨時総会及び R5 第 1 回理事会について  
2. 新年度に向けた進捗状況等について  
3. R5 事業計画・予算及び R4 事業報告・決算について

#### ④理事会（オンライン開催）

##### 【第1回】

期 日：令和4年4月14日(木)

内 容：説明事項 令和4年度体制及び事業内容について

議案1号 令和3年度事業報告および収支決算報告について

議案2号 令和3年度事業計画(案)および収支予算(案)について

議案3号 令和4年度通常総会について

議案4号 令和4年度第1回研修会について

#### ⑤監事会

期 日：令和4年4月27日(水)

場 所：秋田県介護支援専門員協会事務局

内 容：令和3年度事業報告並びに決算監査について

#### ⑥東北ブロック会議（オンライン会議）

期 日：令和5年3月12日（日）

内 容：協議

- ・各支部の活動について
- ・介護保険制度改正に向けた取り組みならびに令和3年度介護保険制度改正の影響について
- ・日本介護支援専門員協会への提案、要望について
- ・ブロック研修会の企画について
- ・ブロック理事について
- ・令和4年度東北ブロック会議について

#### ⑦部会

##### (イ) 研修部会

- ・参集しての部会を行わず、メールやオンラインを活用し委託研修の打ち合わせ等を実施した。

##### (ロ) 調査研究部会

- ・参集しての部会を行わず、メールやオンラインを活用し委託研修の打ち合わせ等を実施した。

##### (ハ) 広報部会

- ・参集しての部会を行わず、メールを活用し広報第21号を作成した。
- ・ホームページ・facebook ページは随時各種の情報更新を実施した。

##### (ニ) 相談部会

- ・新型コロナウイルス感染症の流行による影響で、各種研修が中止やオンラインに変更となったため、対面による相談対応の機会を設けることはほとんどできなかった。

#### (2) 会員増強

令和4年度の会員確定数は、正会員822名、賛助団体3団体、賛助会員1名であり、新規会員は47名であった。正会員の前年度比は、16名の減であった。

県南地区 継続会員 318名  
新規会員 6名  
合計 324名(前年度比 -10名)

中央地区 継続会員 275名  
新規会員 26名  
合計 301名(前年度比 - 5名)

県北地区 継続会員 182名  
新規会員 15名  
合計 197名(前年度比 - 1名)

(3) 関係機関・団体との会議、研修会等への参加協力・講師依頼、委員派遣等

秋田県福祉保健人材・研修センター運営委員会

秋田県認定調査員新任者研修

秋田県認定調査員現任者研修会

秋田県介護認定審査会委員研修会

秋田県介護保険事業計画策定委員会

秋田県リハビリテーション専門職協議会

秋田介護労働懇談会委員

秋田県地域版介護労働懇談会委員

秋田県高齢者対策協議会委員

秋田県地域福祉推進委員会委員

秋田県循環器病対策推進協議会委員

秋田県医療介護総合確保事業計画策定委員会委員

秋田県介護サービス事業所認証評価制度推進委員会

秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会

患者のための薬局推進協議会

歯科保険医療推進事業連絡調整会議

山形県老人福祉施設協議会主催介護支援専門員専門研修課程講師

秋田県福祉保健研修カリキュラム検討委員会

大館市介護保険事業計画運営委員会委員

福祉職員キャリアパス対応生涯研修講師

秋田県介護支援専門員研修委員会委員

(4) 事務局体制の整備

事務局3名常勤による体制の整備

表1 介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者・前期）〉、専門研修課程 I

(敬称略)

	時間	令和4年度	
		1組	2組
1 ～ 2 日目	1 2 H	5/25 (水) ～ 5/26 (木) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 (副担当)	5/31 (火) ～ 6/1 (水) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 (副担当)
3 日目	3H	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 (3H) 泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 (3H) 泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
	4H	5/27 (金) リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する 事例(4H) 社会福祉法人あけぼの会 永富 慎之 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)	6/2 (木) リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する 事例(4H) 社会福祉法人あけぼの会 永富 慎之 企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
4 日目	3H	対人個別援助技術及び地域援助技術(3H) 泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志	対人個別援助技術及び地域援助技術(3H) 泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
	4H	5/28 (土) 看取り等における看護サービスに関する事例 (4H) 秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)	6/3 (金) 看取り等における看護サービスに関する事例 (4H) 秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)
5 日目	2H	ケアマネジメントの実践における倫理(2H) 社会福祉法人秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一	ケアマネジメントの実践における倫理(2H) 社会福祉法人秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一
	4H	6/7 (火) ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協 働の実践(4H) 医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック 理事長 市原 利晃	6/14 (火) 家族への支援の視点が必要な事例(4H) ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 氏 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)
6 日目	4H	6/8 (水) 入退院時等における医療との連携に関する事例 (4H) 秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 (副担当)	6/15 (水) 入退院時等における医療との連携に関する事例 (4H) 秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 (副担当)



	4H		<b>認知症に関する事例（4H）</b> 介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸（副担当）		<b>ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践（4H）</b> 医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック 理事長 市原 利晃
7 日 目	4H	6/9 (木)	<b>家族への支援の視点が必要な事例（4H）</b> けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子（副担当）	6/20 (月)	<b>認知症に関する事例（4H）</b> 介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸（副担当）
	4H		<b>社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例（4H）</b> 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 きらら医療福祉アカデミー総合企画営業部兼研修 チーム 主任講師 関谷 重昭（副担当）		<b>社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例（4H）</b> 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 きらら医療福祉アカデミー総合企画営業部兼研修 チーム 主任講師 関谷 重昭（副担当）
8 日 目	4H	6/10 (金)	<b>状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例（4H）</b> 社会福祉法人花輪ふくし会 常務理事 福本 雅治 清流苑居宅介護支援センター 主任介護支援専門員 小笠原 深幸（副担当）	6/21 (火)	<b>状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例（4H）</b> 社会福祉法人花輪ふくし会 常務理事 福本 雅治 清流苑居宅介護支援センター 主任介護支援専門員 小笠原 深幸（副担当）
	2H		<b>個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習（2H）</b> <b>研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり（2H）</b>		<b>個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習（2H）</b> <b>研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワークづくり（2H）</b>
	2H		社会福祉法人花輪ふくし会 常務理事 福本 雅治		社会福祉法人花輪ふくし会 常務理事 福本 雅治

表2 介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者）〉後期研修 及び 介護支援専門員更新研修〈実務経験者（2回目以降更新対象者）〉、専門研修課程Ⅱ (敬称略)

	時間	科目	1組 7/19 (火) ~ 7/22 (金)	2組 8/8 (月) ~ 8/11 (木)	3組 9/13 (火) ~9/16 (金)
1 日 目	4H	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	7/19 ○大仙市高齢者包括支援センター 参事 畑江 澄子	8/8 (月) ○大仙市高齢者包括支援センター 参事 畑江 澄子	9/13 (火) ○大仙市高齢者包括支援センター 参事 畑江 澄子
	4H	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	8 (火) ○介護老人保健施設なごみのさと リハビリテーション係長 永富 慎之 ・すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎	8/8 (月) ○介護老人保健施設なごみのさと リハビリテーション係長 永富 慎之 ・りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子	9/13 (火) ○介護老人保健施設なごみのさと リハビリテーション係長 永富 慎之 ・居宅介護支援事業所あおぞら 管理者 村上 英男
2 日 目	4H	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	7/20 (水) ○秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 ・介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾	8/9 (火) ○秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 ・介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾	9/14 (水) ○秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 ・介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾
	4H	認知症に関する事例	7/20 (水) ○介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 ・秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子	8/9 (火) ○介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 ・秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子	9/14 (水) ○介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 ・秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子
3 日 目	4H	入退院時等における医療との連携に関する事例	7/21 (木) ○弘前大学附属病院 総合患者支援センター 社会福祉士 袴田 光樹	8/10 (水) ○弘前大学附属病院 総合患者支援センター 社会福祉士 袴田 光樹	9/15 (木) ○弘前大学附属病院 総合患者支援センター 社会福祉士 袴田 光樹
	4H	家族への支援の視点が必要な事例	7/21 (木) ○弘前大学附属病院 総合患者支援センター 社会福祉士 袴田 光樹	8/10 (水) ○弘前大学附属病院 総合患者支援センター 社会福祉士 袴田 光樹	9/15 (木) ○弘前大学附属病院 総合患者支援センター 社会福祉士 袴田 光樹
4 日 目	4H	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	7/22 (金) ○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲	8/11 (木) ○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲	9/16 (金) ○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲
	4H	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	7/22 (金) ○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲	8/11 (木) ○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲	9/16 (金) ○特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ・ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲

表3 介護支援専門員再研修

(敬称略)

科目				再研修及び更新研修	
1 日 目	○介護保険制度の理念・現状及び ケアマネジメント	3H 講義	10:00～ 14:00	8/1 (月)	1 節、7 節 秋田県介護支援専門員協会 事務局長 長谷川 正美  2 節～6 節、8 節 泉地域包括支援センターリンデンバウム センター長 金野 大志
	○ケアマネジメントに係る法令等 の理解	2H 講義	14:00～ 16:00		秋田県介護支援専門員協会 事務局長 長谷川 正美
2 日 目	○自立支援のためのケアマネジ メントの基本	6H 講義 演習	9:30～ 16:30	8/2 (火)	特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦  特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 (副担当)
3 日 目	○介護支援専門員に求められるマ ネジメント	2H 講義 演習	9:00～ 11:00	8/3 (水)	ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲  企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
	○地域包括ケアシステム及社会資 源	3H 講義	11:00～ 15:00		ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲  企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
	○人格の尊重及び権利擁護並び に介護支援専門員の倫理	2H 講義	15:00～ 17:00		ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲  企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
4 日 目	○ケアマネジメントに必要な医療と の連携及び多職種協働の意義	3H 講義	9:30～ 12:30	8/4 (木)	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子  特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 (副担当)
	○ケアマネジメントの展開 ・基礎理解	3H 講義 演習	13:30～ 16:30		特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 (副担当)
5 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・脳血管疾患に関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/5 (金)	居宅介護支援事業所おおだてハチ公 所長 佐藤 菖子  すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎 (副担当)
6 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・認知症に関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/16 (火)	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希  りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)

7 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・筋骨格系疾患及び廃用症候群に 関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/17 (水)	講師 居宅介護支援事業所おおだてハチ公 所長 佐藤 菖子  秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 (副担当)
8 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・内臓の機能不全(糖尿病、高血 圧、脂質異常、心疾患、呼吸器疾 患、腎臓病、肝臓病等)に関する 事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/18 (木)	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子  企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 (副担当)
9 日 目	○ケアマネジメントの展開 ・看取りに関する事例	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/19 (金)	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希  居宅介護支援事業所あおぞら 管理者 村上 英男 (副担当)
10 日 目	○アセスメント及び居宅サー ス計画等作成の総合演習	5H 講義 演習	10:00～ 16:00	8/20 (土)	特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘  JA 秋田おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸 (副担当)

表4 主任介護支援専門員研修

(敬称略)

日にち	時間	研修科目	指導者
1日目 10月11日 (火)	10:00～ 16:00 (5H)	主任介護支援専門員の役割と視点	八峰町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 原田 正胤
2日目 10月12日 (水)	9:30～ 16:30 (6H)	対人援助者監督指導	一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 七種 秀樹
3日目 10月13日 (木)	9:30～ 12:30 (3H)	ターミナルケア	NPO 法人ホームホスピス秋田 理事長 中村 順子
	13:30～ 15:30 (2H)	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	社会福祉法人秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一
4日目 10月14日 (金)	9:30～ 16:30 (6H)	対人援助者監督指導	一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 七種 秀樹
5日目 10月25日 (火)	9:30～ 16:30 (6H)	対人援助者監督指導	一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 七種 秀樹
6日目 10月26日 (水)	9:30～ 16:30 (6H)	ケアマネジメント必要な医療との連携及び多職種協働の実践	弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター 認定社会福祉士(医療分野) 袴田 光樹
7日目 10月27日 (木)	9:00～ 18:00 (8H)	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎
8日目 10月28日 (金)	9:00～ 18:00 (8H)	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎
9日目 11月2日 (水)	9:00～ 18:00 (8H)	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎
10日目 11月3日 (木)	9:30～ 16:30 (6H)	地域援助技術	日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 准教授 菱沼 幹男
11日目 11月4日 (金)	9:30～ 12:30 (3H)	人材育成及び業務管理	社会福祉法人あけぼの会 副理事長 小原 秀和
	13:30～ 16:30 (3H)	運営管理におけるリスクマネジメント	

表5 主任介護支援専門員更新研修

(敬称略)

		時間	科目	講師
1 目 目	9/6 (火)	10:00～ 15:00	介護保険制度及び地 域包括ケアシステム の今後の展開	大館市社会福祉事業団 法人本部事務局 主幹 伊藤 政利
2 目 目	9/7 (水)	9:30～ 16:30	リハビリテーション 及び福祉用具の活用 に関する事例	老人保健施設なごみのさと リハビリテーション係長 永富 慎之 JA おばこケアプランセンター 係長 伊藤 弘幸 (副担当)
3 目 目	9/8 (木)	9:30～ 16:30	看取り等における看 護サービスに関する 事例	秋田県看護協会 訪問看護部長 菊地 富貴子 清流苑居宅介護支援センター 主任介護支援専門員 小笠原 深幸 (副担当)
4 目 目	9/9 (金)	9:30～ 16:30	認知症に関する事例	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)
5 目 目	9/28 (水)	9:30～ 16:30	入退院時等における 医療との連携に関す る事例	居宅介護支援事業所おおだてハチ公 所長 佐藤 菖子 居宅介護支援事業所あおぞら 管理者 村上 英男 (副担当)
6 目 目	9/29 (木)	9:30～ 16:30	家族への支援の視点 が必要な事例	複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子 地域密着型特別養護老人ホームわかば 施設長 川俣 澄人 (副担当)
7 目 目	9/30 (金)	9:30～ 16:30	社会資源の活用に向 けた関係機関との連 携に関する事例	特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 (副担当)
8 目 目	10/1 (土)	9:30～ 16:30	状態に応じた多様な サービス(地域密着型 サービス、施設サー ビス等)の活用に関す る事例	特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 特別養護老人ホーム雄水苑 生活相談員 柴田 司 (副担当)